

歯科患者を見るためのイントロダクション (IDP : Introduction to the Dental Patient)

責任者・コーディネーター	歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 工藤 雅之 准教授 口腔保健育成学講座(小児歯科学・障害者歯科学分野) 森川 和政 教授				
担当講座(分野)	日程表の担当教員(講座 分野)欄に別に示す。				
対象学年	3	区分・時間数	後期	講義/演習 49.5時間	実習 52.5時間
期間	後期				

学修方針 (講義概要等)

本学の臨床教育では患者治療の流れに即したコース制を採用している。このIDPはコースの最初に位置している。IDPでは、医療情報収集、エックス線撮影、口腔内検査、医療安全などの患者治療に必要な基礎的知識、技術を修得するとともに、外来での実習を通じて医療従事者に必要な基本的態度も修得する。また、高齢化社会を迎えた我が国において安全な歯科医療を提供するために全身疾患を有する患者へのアプローチについて修得する。

教育成果 (アウトカム)

医療面接講義とロールプレイ方式での医療面接実習を通じて、医療面接を行う際に必要な知識と基本的な医療コミュニケーション能力を身につけることができる。さらに、医療面接に必要なインフォームドコンセントについての説明ができるようになる。

外来での印象採得相互実習、シミュレーターや相互エックス線撮影実習を通じて、エックス線検査を行なうことができるようになるとともに、医療人に必要な身だしなみ、患者への配慮、清潔域不潔域を遵守する態度を身につけることができる。

講義を通じて各歯科専門領域の概略を説明できるようになるとともに、有病者歯科患者や周術期患者に必要な歯科医療について説明できるようになる。

グループ学習を通じて、与えられた課題について問題点を抽出し、解決のために必要な事柄を発想、解決して分かりやすくプレゼンテーションを行うことができるようになる。

(関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5)

事前事後学修の具体的内容及び時間

日程表の事前事後学修欄に別に示す。

(事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する)

講義/演習/実習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	8/31 (木)	1	ODE 佐藤和朗教授 (歯学教育部門長) コース主責任者 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 森川和政教授 (小児歯科学)	1~7コースと1コースの 概要 1~7コースと1コースの 内容と合格基準について 説明できるようになる。	1. 1~7コースの目標について説明 できる。 2. 1~7コースの概要を説明でき る。 3. 1~7コースの評価法について説 明できる。 4. IDPの目標について説明できる。 5. IDPの内容について説明できる。 6. IDPの実習について説明できる。 7. IDPの評価法について説明でき る。
実習	8/31 (木)	2	工藤義之准教授 浅野明子講師 (う蝕治療学) 森川和政教授 (小児歯科学)	診療姿勢 (矢巾) シミュレーターで正しい 診療姿勢をとることがで きるようになる。	1. 適切な診療姿勢をとることがで きる。 2. ドクターズツールの高さを調節 できる。 3. ホームポジションをとることが できる。 4. ハンドピースの3種の持ち方で把 持できる。 5. 正しくレストを置くことができ る。 [F-1-2), F-3-3)] 事前学習: WebClassで実習書「診療 姿勢」ファイルを理解し、診療姿勢 について書籍等で調べる。

実習	8/31 (木)	3	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)	実習説明 (矢巾) 印象&模型作製 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解し、印象採得、模型作製について調べる。
		4	星野正行助教 (歯科放射線学)	放射線 シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。	1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]
			工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学)	グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。	1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4]
			グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)		

講義	9/1 (金)	1	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション 1 医療情報収集 (医療面接) 医療面接の目的、意義、 手技を説明できるようになる。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。 3. 主訴の定義、種類を説明する。 4. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 5. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。 [A-1-2), A-4, A-5] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習: WebClassの資料を理解しておく。書籍で医療面接について調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。
講義	9/1 (金)	2	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション 2 医療情報収集(歯科体系、専門用語、主訴、既往歴、現病歴)について説明できるようになる。	1. 診療録の意義を説明する。 2. 診療録に記載する項目について説明する。 3. 歯式の記入法を説明する。 4. 歯式に用いる略語を説明する。 5. 主訴の定義、種類を説明する。 6. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 7. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。 [A-1-2), A-4, A-5] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習: WebClassの資料を理解しておく。書籍で診療録について調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。
実習	9/1 (金)	3 4	佐藤健一教授 (歯科麻酔線学)	血圧測定実習	
講義	9/4 (月)	1	澤田智史准教授 (医療工学)	口腔状態の記録に用いる 歯科材料 印象採得と模型作製に用いる歯科材料の種類と、口腔内模型を作製するための取り扱い上の留意点を説明できるようになる。	1. 口腔内模型作製の目的を説明できる。 2. 口腔内模型作製の工程と用いる材料(印象材、石膏)を説明できる。 3. 製作する模型に応じた印象材、石膏の選択を説明できる。 4. 印象採得の技術に関わる諸因子(トレーの種類と取り扱い、印象材の物性)を説明できる。 5. 石膏の取り扱いに関する技術上の留意事項(練和、注入、保管)を説明できる。 [D-1-①②、D-2-②③④] 事前学習: 2年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学(第7版; p117-155)、新編歯科理工学(第6版; p63-99)、レジメ、講義ノート)に目を通して講義に臨むこと(所要時間30分程度)。講義中では随時、ディスカッションを実施し、学生の理解度を深めるための質問とフィードバックを行う。

講義	9/4 (月)	2	藤原尚樹教授 (機能形態学)	印象採得に必要な解剖学 口腔内の粘膜表面構造と内部構造の関連を理解し、印象採得の意義を解剖学的視点から説明できるようにする。	1. 口腔粘膜の表面構造と裏打ちする構造を説明できる。 2. 咀嚼筋の走行、翼突下顎縫線と口腔内の構造の関係性を説明できる。 3. 口蓋～口蓋帆の粘膜下の構造、筋肉の走行を説明できる。 4. 印象採得に必要な口腔内の構造とその解剖学的特徴を関連付けて説明できる。 [E-2-1)-②③、E-2-2)-①②] 講義中に口腔内の構造となぜ印象採得時に注意する必要があるかについてディスカッションを行う。 事前学習：解剖学の教科書「口腔解剖学（医歯薬出版）第15章を読んでその内容を復習しておくこと。講義中に臨床との関連性も含め解説を行う。
講義	9/4 (月)	3 4	肥田圭介教授 (医療安全学講座) 岸 光男教授 (予防歯科学) 田中良一教授 (歯科放射線学)	医療安全 感染制御 放射線管理 医療安全には種々の要素があることを理解することで、安全な歯科医療を提供する態度をとるようになる。	1. 医療安全の意味と必要性を説明できる 2. 医療事故を説明できる。 3. 医療事故の原因を分析し、解決策を立案できる。 1. 感染症成立の3要素別に院内感染対策を列挙できる。 2. 感染症対策に係わる法規を列挙できる。 3. 抗菌薬適正使用の意義を概説できる。 1. 放射線被ばく管理の理念を説明できる。 2. 職業被ばくと線量限度を説明できる。 3. 放射線被ばく防護について説明できる。 [A-6-1)-⑤～⑦、A-6-3)-①～⑤] 事前学習 [医療安全] 歯科医療に関する医療事故事例について調べ、原因と予防策をまとめる。 [感染制御] 2年時衛生学・公衆衛生学「感染症の予防」のレジメを復習しておくこと。 [放射線管理] 歯科放射線学第5版第2章5.【医療における放射線防護】を通読し、要点をまとめること。

<p>実習</p>	<p>9/5 (火)</p>	<p>1 2</p>	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント) 院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (摂食・嚥下) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G1:印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G2:放射線 (5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床実 習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G3、4、5、6グループ学 習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるようにな る。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテー ションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を 列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明でき る。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)- ⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解 し、印象採得、模型作製について調 べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明でき る。 3. 口内法撮影の手順を列挙でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について 説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F- 1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
-----------	--------------------	----------------	---	---	--

実習	9/5 (火)	3 4	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント)</p> <p>院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (摂食・嚥下) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G3:印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。</p> <p>G4:放射線 (5階会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、5、6グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解し、印象採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
講義	9/6 (水)	1	<p>千葉俊美教授 (関連医学分野)</p> <p>内分泌代謝疾患を有する患者へのアプローチ①</p> <p>内分泌代謝疾患</p> <p>歯科疾患治療と内分泌代謝疾患の関係について理解する。</p>	<p>歯科疾患治療と以下の代表的内分泌代謝疾患との関係について理解し、それぞれの疾患の概念について説明できる。</p> <p>1. 糖尿病 2. 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、 3. 副腎機能亢進症、副腎機能低下症について理解し説明できる。 [E-6-②, C-3-4)-(9)-①] 事前学習：内分泌代謝疾患に関して医科学総論で使用した「歯科医師のための内科学」を一読して講義に臨むこと。</p>	

講義	9/6 (水)	2	千葉俊美教授 (関連医学分野)	循環器疾患を有する患者へのアプローチ ① 循環器疾患 歯科疾患治療と循環器疾患の関係について理解する。	歯科疾患治療と以下の代表的循環器疾患との関係について理解し、それぞれの循環器疾患の概念について説明できる。 1. 感染性心内膜炎 2. 高血圧症 3. 虚血性心疾患 4. 不整脈 5. 心不全 [E-6-②] 事前学習：循環器疾患に関して医科学総論で使用した「歯科医師のための内科学」を一読して講義に臨むこと。
講義	9/6 (水)	3	浅野明子講師 (う蝕治療学)	循環器疾患を有する患者へのアプローチ ② 歯科における周術期管理の必要性を理解する。	1. 周術期管理の目的を説明できる。 2. 循環器疾患患者の口腔管理について説明できる。 3. 周術期管理の実際のシステムについて説明できる。 [A-4-1-②, A-5-1-②, B-1-②] 事前学習：到達目標について講義資料や書籍を読んでまとめておく。
講義	9/6 (水)	4	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯の修復、歯内療法が必要な患者についての導入 歯の修復を必要とする疾患と治療法について説明できるようになる。	1. 歯の修復の原因を説明できる。 2. 歯の修復法を列挙し説明できる。 3. 保存修復学の概要を説明できる。 4. 歯内疾患の原因を説明できる。 5. 歯内療法の流れを説明できる。 6. 歯内療法学の概要を説明できる。 [E-3-3] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習：WebClassの資料を理解しておく。医歯薬出版保存修復学第1章1、2、3、4、歯内療法学第1章1、2を読み、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。

<p>実習</p>	<p>9/7 (木)</p>	<p>1 2</p>	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学) 工藤義之准教授</p> <p>(歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント)</p> <p>院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (摂食・嚥下) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G5:印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G6:放射線(5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床実 習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4グループ学 習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるようにな る。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテー ションができるようにな る。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を 列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明でき る。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)- ⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解 し、印象採得、模型作製について調 べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明でき る。 3. 口内法撮影の手順を列挙でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について 説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F- 1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
-----------	--------------------	----------------	--	--	--

実習	9/7 (木)	3 4	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学) 工藤義之准教授</p> <p>(歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント)</p> <p>院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (摂食・嚥下) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G2:印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G1:放射線 (5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床実 習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G3、4、5、6グループ学 習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテー ションができるように なる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を 列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明でき る。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)- ⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解 し、印象採得、模型作製について調 べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明でき る。 3. 口内法撮影の手順を列挙でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について 説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F- 1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
----	------------	--------	--	---	---

講義	9/8 (金)	1	工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション 3 患者へのアプローチ 患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について説明できるようになる。	1. 患者に接するときの心構えを説明する。 2. 良医(歯科医)の条件を説明する。 3. 患者と疾患との関連を説明する。 4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 5. 診断に必要な診査事項を説明する。 6. 診断の方法を説明する。 7. 医療情報の収集法を説明する。 [A-1-2)、A-4、A-5] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習: WebClassの資料を理解しておく。書籍で患者に対する歯科医の心構えについて調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。
講義	9/8 (金)	2	工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション 4 チーム医療と多職種連携 チーム医療における歯科医師の役割を理解し、他職種連携について説明できるようになる。	1. チーム医療について説明できる。 2. チーム医療における各種職業の役割について説明できる。 3. チームの形成過程について説明できる。 4. 多職種連携について説明できる。 [A-1-2)、A-4、A-5] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習: WebClassの資料を理解しておく。書籍でチーム医療と多職種連携について調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。
講義	9/8 (金)	3	池崎晶二郎助教 (発生生物・再生医学)	歯周組織の正常構造について 歯周組織の発生からその構造的意味と臨床においての重要性を説明できるようになる。	1. 歯周組織の構造を説明できる。 2. セメント質・歯根膜・歯槽骨の関係を説明できる。 3. 歯根発生と歯周組織形成、セメントエナメル境、接合上皮の構造とその意義について説明できる。 4. 歯槽骨の構造とエックス線写真との関連を説明できる。 [E-3-1)-⑥]

講義	9/8 (金)	4	山谷元気講師 (口腔外科学)	口腔外科序論 口腔外科診断学 診察法 口腔外科の概要について説明できるようになる。 口腔外科の診察において必要な診察法を説明できるようになる。	1. 口腔外科学の体系を概説できる。 2. 歯科医療における口腔外科学の意義を述べることができる。 3. 診察法の種類を列挙できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。 5. 診察に必要な器材を列挙できる。 6. 視診の項目を列挙できる。 7. 触診の項目を列挙できる。 [E-1-1)、F-2-1)、F-2-2)] 事前学習：提示する検討項目（抜歯、炎症、先天異常、外傷、腫瘍）について参考図書等で調べる。
講義	9/11 (月)	1	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学および歯科矯正治療の意義 歯科矯正学および歯科矯正治療の意義について説明できるようになる	1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 歯科矯正学の目的と意義を説明できる。 3. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 4. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 [E-4-1)-①②] WebClassの資料を理解し、相当する項目について歯科矯正学6版を読んでおく。
講義	9/11 (月)	2	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	正常咬合と不正咬合について 正常咬合の概念と不正咬合を表現できるようになる。	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 歯列と咬合について説明できる。 4. 不正咬合の客観的な表現法を説明できる。 [E-2-2)-④、E-4-1)-②] WebClassの資料を理解し、相当する項目について歯科矯正学6版を読んでおく。
実習	9/11 (月)	3 4	森川和政教授 (小児歯科学) 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 補綴教員 歯麻酔教員 石川雄大助教 (口腔外科学) 予防教員 歯科麻酔教員 森川和政教授 (小児歯科学)	医療コミュニケーション実習 (矢巾実習室) ① ロールプレイ実習で医療面接を実施できるようになる。	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。 [F-1-1)] 事前学習：IDP講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯科医師役をシミュレーション練習して実習に臨むこと。

<p>実習</p>	<p>9/12 (火)</p>	<p>1 2</p>	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学)</p> <p>補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント)</p> <p>院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>訪問診療 米澤紗織助教 (補綴・インプラント)</p> <p>矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G4:印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。</p> <p>3:放射線(5階会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、5、6グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解し、印象採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
-----------	---------------------	----------------	---	---	---

実習	9/12 (火)	3 4	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野) 工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラン ト) 院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (補綴・インプラン ト) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G6:印象&模型作製 (外 来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製でき ようになる。</p> <p>G5:放射線(5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床実 習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4グループ学 習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるよう になる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテー ションができるようにな る。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を 列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明でき る。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)- ⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解 し、印象採得、模型作製について調 べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明でき る。 3. 口内法撮影の手順を列挙でき る。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について 説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、 F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
講義	9/13 (水)	1	<p>千葉俊美教授 (関連医学分野)</p> <p>悪性腫瘍・自己免疫疾患 を有する患者へのアプ ローチ①</p> <p>悪性腫瘍・自己免疫疾患</p> <p>歯科疾患治療と悪性腫 瘍・自己免疫疾患の関 係について理解する。</p>	<p>歯科疾患治療と以下の代表的悪性腫 瘍・自己免疫疾患との関係について 理解し、それぞれの循環器疾患の概 念について説明できる。</p> <p>1. 胃癌 2. 大腸癌 3. 肺癌 4. 膠原病</p> <p>[E-6-②] 1. 事前学習：悪性腫瘍・自己免疫 疾患に関して医科学総論で使用した 「歯科医師のための内科学」を一読 して講義に臨むこと。</p>	

講義	9/13 (水)	2	千葉俊美教授 (関連医学分野)	脳血管疾患・認知症を有する患者へのアプローチ① 代謝疾患 歯科疾患治療と脳血管疾患・認知症の関係について理解する。	歯科疾患治療と以下の代表的脳血管疾患・認知症との関係について理解し、それぞれの循環器疾患の概念について説明できる。 1. 脳卒中 (脳出血, 脳梗塞) 2. 認知症 [E-6-②] 事前学習: 脳血管疾患・認知症に関して医科学総論で使用した「歯科医師のための内科学」を一読して講義に臨むこと。
講義	9/13 (水)	3	小林琢也 教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	脳血管疾患・認知症を有する患者へのアプローチ② 脳血管疾患や認知症に罹患した患者に対する口腔リハビリテーションを説明できるようになる。	1. 脳血管疾患の病態について説明ができる。 2. 認知症の病態について説明ができる。 3. 脳血管疾患による口腔機能障害の病態を説明できる。 4. 認知症による口腔機能障害の病態を説明できる。 5. 脳血管疾患・認知症を有する患者への摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 [D-5-7-1, 2] 事前学習: 老年歯科医学 p 182～211、p 353～371を読んで、脳血管疾患・認知症と口腔機能の関係について500字程度に要点をまとめておく。
講義	9/13 (水)	4	大石泰子助教 (予防歯科学)	周術期患者へのアプローチ 周術期患者への歯科的アプローチについて説明できるようになる。	1. 周術期患者への口腔管理の必要性を説明できる。 2. 化学療法、放射線療法、臓器移植等を受ける患者の口腔内に現れる症状について説明できる。 3. 周術期患者に行う口腔管理の方法について説明できる。 [E-5-1)] 授業中に学生同士教え合う時間を設けることで全体及び個々の理解を深める。 事前学習: 到達目標について講義資料や書籍などでまとめておく (必要時間30分程度)。

実習	9/14 (木)	1 2 3 4	<p>佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>星野正行助教 (歯科放射線学)</p>	<p>実習試験① (内丸) 印象採得 (外来) 印象採得を実地できるようになる。</p> <p>口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 <p>[F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習：印象採得について各自シミュレーション練習を行い試験に臨むこと。</p> <p>以下の項目を規定時間内に実施できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <p>[E-1-2)-⑦]</p>
講義	9/15 (金)	1 2	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント) 院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (補綴・インプラント) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。</p> <p>クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与えられた課題を解決できる。 <p>[E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>

実習	9/15 (金)	3 4	森川和政教授 (小児歯科学) 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 補綴教員 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 森川和政教授 (小児歯科学)	医療コミュニケーション 実習 (矢巾実習室) ② ロールプレイ実習で医療 面接を実施できるようになる。	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。 [F-1-1] 事前学習：IDP講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯科医師役をシミュレーション練習して実習に臨むこと。
実習	9/19 (火)	1 2 3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚康之助教 桑島幸紀講師 菊池恵美子助教 (歯科矯正学) 星野正行助教 (歯科放射線学)	実習試験② (内丸) 印象採得 (外来) 印象採得を実地できるようになる。 口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。	以下の項目を規定時間内に実施できる。 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 [F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習：印象採得について各自シミュレーション練習を行い試験に臨むこと。 以下の項目を規定時間内に実施できる。 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 [E-1-2)-⑦]
講義	9/20 (水)	1	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	代謝疾患を有する患者へのアプローチ② 歯周病のリスクファクターと全身への影響をについて説明できるようになる。	1. 歯周病のリスクファクターについて説明できる。 2. 細菌因子について説明できる。 3. 環境因子について説明できる。 4. 宿主因子について説明できる。 5. 歯周病と代謝疾患の関係について説明できる。 [E-3-3)-(3)-①、E-3-2)-③] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版の該当ページを読んで到達目標についてまとめる。

講義	9/20 (水)	2	千葉俊美教授 (関連医学分野)	感染症・血液疾患を有する患者へのアプローチ① 感染症・血液疾患 歯科疾患治療と感染症・血液疾患の関係について理解する。	歯科疾患治療と以下の代表的感染症・血液疾患との関係について理解し、それぞれの感染症・血液疾患の概念について説明できる。 1. 感染症 2. 菌交代現象 3. 貧血 4. 白血病 5. 出血性素因 6. 血友病 7. von Willebrand病 [E-6-②] 事前学習：感染症・血液疾患に関して医科学総論で使用した「歯科医師のための内科学」を一読して講義に臨むこと。
実習	9/20 (水)	3 4	森川和政教授 (小児歯科学) 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 補綴教員 矯正教員 星 勲助教 (口腔外科学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学)	医療コミュニケーション実習試験 (矢巾実習室) ロールプレイ実習で医療面接を実施できるようになる。	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。 [F-1-1] 事前学習：IDP講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯科医師役をシミュレーション練習して実習に臨むこと。
実習	9/21 (水)	3 4	星野正行助教 (歯科放射線学)	放射線実習発表会 放射線撮影 (矢巾) グループごとにエックス線を撮影し発表 1班20分×6班 質疑 まとめ講義 シミュレーターや相互実習での口内法エックス線撮影実習を通じて習得したことをわかりやすく発表できるようになる。	1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 [E-1-2)-⑦]
講義	9/25 (月)	1	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	歯の修復・補綴が必要な患者についての導入 歯の欠損と欠損補綴の基本について説明できるようになる。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を説明できる。 2. 歯の欠損と補綴治療の目的、臨床的意義を説明できる。 [E-1-1)、F-2-1)、F-2-2)] 事前学習：WebClassの資料を理解し、歯の欠損や補綴についてまとめておく。所要時間30分以上。

	9/25 (月)	2 3 4	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 補綴系 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント) 院内感染 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 訪問診療 米澤紗織助教 (補綴・インプラント) 矯正系 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習発表会 (矢巾) グループごとに発表 まとめ</p> <p>1班20分×6班 質疑5分×6班 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテー ションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 調べたことを聞き手に解りやす く説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F- 1-2)、G-4]</p>
実習	9/26 (火)	1 2	<p>間山寿代准教授 (歯科矯正学)</p> <p>印象実習発表会</p> <p>印象&模型作製 (内丸)</p> <p>グループごとに作製した 模型をもとに発表 まとめ 1班20分×6 質疑</p> <p>まとめ講義 印象採得法と模型作製法 実習を通じて習得したこ とをわかりやすく発表で きるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 採得した印象を評価すること ができる。 3. 作製した研究用模型を評価す ることができる。 [E-2-2)-④] [F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習：印象採得、模型作製に関 連した材料など、歯科理工学や材料 学の教科書を調べる。各自の印象や 模型について評価を行う。</p>	

実習	9/26 (火)	3 4	<p>補足実習 ※該当者のみ、それ以外は内丸で出席確認、自主学習</p> <p>口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>印象採得 (外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。</p> <p>医療コミュニケーション実習 ロールプレイ実習で医療面接を実施できるようになる。</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <p>1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥]</p> <p>1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。 [F-1-1)]</p> <p>事前学習：補足実習該当者は、「口腔内エックス線撮影実習」「印象採得実習」「医療面接実習」の内容を復習し、各自シミュレーション練習して実習に臨むこと。</p>
講義	9/28 (木)	1	<p>山谷元気講師 (口腔外科学)</p> <p>悪性腫瘍・自己免疫疾患を有する患者へのアプローチ②</p>	<p>1. 口腔領域の悪性腫瘍や全身疾患である自己免疫疾患を有する患者の口腔症状に関する歯科的アプローチや歯科治療における注意点を説明できる。 [E-6]</p> <p>事前学習：WebClassの資料を確認する。疑問点をレポート用紙半分程度に箇条書きにしておく。質問は随時受け付ける。</p>

コース最終試験

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
	9/29 (金)	1 2	<p>工藤義之准教授 (う蝕治療学・歯科医学教育学)</p> <p>森川和政教授 (小児歯科学)</p> <p>浅野明子講師 (う蝕治療学・歯科医学教育学)</p> <p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)</p>	IDP最終試験1	
	9/29 (金)	3 4	同上	IDP最終試験2	試験後、コースアンケートを実施する。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	保存修復学21 6版	阿南壽ほか編	永末書店	2022
教	保存修復学 7版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2019
教	保存修復クリニカルガイド 2版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009
教	歯内治療学 5版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2018
教	臨床歯周病学 3版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020
教	ザ・ペリオドントロジー 3版	沼部幸博ほか編	永末書店	2019
参	失敗しない歯周外科：キュレット タージから再生療法まで	小方 頼昌・國松 和司 著	クインテッセンス出版	2007
推	歯周病学用語集 第3版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019
推	コーエン審美再建歯周外科カ ラーアトラス 原著第3版	E. S. コーエン 編 鴨井久 一 監訳	西村書店	2009
推	院内感染防止マニュアル IV	岩手医科大学附属病院歯科 医療センター院内感染予防 対策委員会	岩手医科大学附属病院歯 科医療センター院内感染 予防対策委員会	2009
教	スタンダード歯科理工学 第7版 第3刷	中畠裕ほか編集幹事	学建書院	2023
教	新編歯科理工学 第6版 第2刷	服部雅之/武本真治 編	学建書院	2022
教	歯科矯正学 6版	飯田順一郎、葛西一貴ほか 編	医歯薬出版	2019
参	矯正歯科臨床ヒント集（カラー アトラスハンドブック）	三浦廣行、葛西一貴、氷室 利彦編	クインテッセンス出版	2004
参	混合歯列期の矯正歯科治療	後藤滋巳ほか編	医歯薬出版	2002
参	メディカル・インタビューマニ ュアル第3版：医師の本領を生かす コミュニケーション技法 第3版	福井次矢 監修	インターメディカ	2002
参	POSによる歯科診療録の書き方	日野原 重明 監修	医歯薬出版	2005
参	臨床口腔診断学	内山 洋一ほか編	国際医書出版	1994
参	総合口腔診断学	増田 屯 編	砂書房	1996
教	口腔外科学 4版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2020
推	口腔外科学 5版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016
教	歯科医師のための内科学	千葉俊美、山田浩之 集	医歯薬出版	2021

参	内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017
参	現代小児歯科学 改5版	黒須 一夫 編著	医歯薬出版	1994
参	小児の口腔軟組織疾患：診断ア トラス	甘利 英一、武田 泰典 著	医学情報社	1995
参	小児歯科学 第5版	白川哲夫 編集代表	医歯薬出版	2017
参	口腔解剖学 第2版	脇田稔・井出吉信監修 前田健康 ほか編	医歯薬出版	2019
推	内科学 12版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2022
参	解説と例題でわかる 歯科放射 線テキスト	勝又明敏 浅海淳一 田口 明 森本泰宏 ほか編	永末書店	2021
参	歯科臨床における画像診断アト ラス 第2版	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2020
教	歯科放射線学 第6版	岡野友宏 小林 馨 有地 榮一郎 編	医歯薬出版	2018
推	エビデンスに基づいた周術期口 腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医歯薬出版	2018

成績評価方法・基準・配点割合等

講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。

講義：試験成績65点以上を合格とする。

実習：実習評点65点以上を合格とする。

印象、模型作製実習：実習過程と実習試験で評価する。

放射線実習：実習過程と実習試験で評価する。

医療面接実習：知識（実習内容の理解）、技術（コミュニケーションスキル、情報収集）、態度（身だしなみ、歯科医師としての礼節のある行動、積極性）で評価する。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

本コースでは、一般的な講義に加えて能動的学修方法（プレゼンテーション、グループワーク、シミュレーション、相互評価）を適宜取り入れるとともに、歯科医療センター外来での相互実習やロールプレイによる医療面接実習を行う。また、講義の途中あるいは最後にDESS、WebClass、クリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。試験終了後にWebClassを通じてフィードバックする。

実習において十分なパフォーマンスを発揮できなかった場合は、補足実習にてフィードバックしてパフォーマンスの向上を図る。

グループワークはSocietyに従い実施する。班ごとに異なった課題を与えるので、各班で課題について調べ、ディスカッションして最終発表までにプレゼンテーションの準備を行うこと。

進捗状況、作業目標は毎回のグループ学習の開始時、終了時にWebClassにアップすること。指導ファシリテーターとのやり取りはWebClass、メールや直接面会して行うこと。最終発表は発表20分、質疑応答10分で行う。

印象&模型作製実習、エックス線撮影実習は内丸診療室で実施する。診療室でのふさわしい態度、服装について考察し、実践すること。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
ノートパソコン 一式 SVP1121A2J	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用

コピー機 image RUNNER ADVANCE	C5235F	1	基礎実習・研究用機器	講義配布資料作成
ノートパソコン	CF-LX3HEQBP	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用
ノートパソコン	INSPRION	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用
プレゼンテーション マウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレ コーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27い ち iMac Retina 5Kディ スプレイ 一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
Macmini CoreI5	MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
一眼レフカメラ	EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧

Introduction to the Dental Patient

4週間の概要

1. 歯科医学INTRODUCTION, 歯科治療に必要な基礎技術, グループ学習, 歯科材料, インфекションコントロール、グループ学習
2. 歯科医学INTRODUCTION, 医療コミュニケーション, 歯科治療に必要な基礎技術, 歯科医学INTRODUCTION, 歯の解剖, 歯科治療に必要な基礎技術, グループ学習、災害歯学、周術期歯科、心臓の働きと循環器疾患
3. 歯の移動、ペリオドンタルメディスン、グループ学習
4. 歯科治療に必要な基礎技術, 医療コミュニケーション, グループ学習, 実習試験, 試験 *

*: コースアンケート実施

Introduction to the Dental Patient

Week 1-1: 歯科医学INTRODUCTION, 歯科治療に必要な基礎技術, グループ学習

				8/31(木)	9/1
1				1～7コースと1コースの概要 ODE(歯学教育部門長) 佐藤和朗教授 1コース主査任者 工藤義之准教授	医療コミュニケーション1 医療情報収集 医療面接 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)
2				診療姿勢 (矢巾実習室) 浅野明子講師 工藤義之准教授 +2人	コミュニケーション2 医療情報収集 医療面接 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学)
3				実習説明(矢巾) 印取と採血作製 間山寿代准教授 歯科診療におけるエックス線撮影 佐藤 仁助教 グループ学習課題提示 工藤義之准教授 浅野明子講師 (小児歯科学) テーマ: チュートー 全身疾患 工藤義之准教授 歯周系 滝沢 希助教 補綴系 野原 樹助教 腔内感染 工藤義之准教授 訪問診療 米澤 紗織助教 矯正系 菊池 恵美子助教	血圧測定実習 (矢巾) 佐藤 健一教授 (歯科麻酔学)
4					

Introduction to the Dental Patient

Week 1-2: 歯科医学INTRODUCTION, 歯科治療に必要な基礎技術, グループ学習

	9/4 月	9/5 火	9/6 水	9/7 木	9/8 金
1	口腔状態の記録に用いる歯科材料 澤田智史准教授 (医療工学)	内丸実習 8:50集合厳守 G1 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 佐藤和朗教授 間山寿代准教授 飯塚望之助教 奥島幸紀講師 菊池恵美子助教	内分泌代謝疾患を有する患者へのアプローチ① 千葉俊美教授 (関連医学分野)	内丸実習 8:50集合厳守 G5 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授 G6.放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教	医療コミュニケーション3 患者へのアプローチ 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)
2	研究用模型印象採得に必要な解剖学 藤原尚樹教授 (機能形態学)	G2.放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教 G3.4.5.6グループ学習 工藤義之准教授	循環器疾患を有する患者へのアプローチ① 千葉俊美教授 (関連医学分野)	G1.2.3.4.グループ学習 工藤義之准教授	医療コミュニケーション4 チーム医療と他職種連携 工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)
3	医療安全 感染制御 放射線管理 肥田圭介教授 (医療安全学) 岸 光男教授 (予防歯科学) 田中良一教授 (歯科放射線学)	内丸実習 G3 印象&模型作製(矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授 G4.放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教 G1.2.5.6グループ学習 工藤義之准教授	循環器疾患を有する患者へのアプローチ② 浅野明子講師 (う蝕治療学)	内丸実習 G2 印象&模型作製(矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授 G1.放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教	歯周組織の正常構造について 池崎晶二郎助教 (発生生物・再生医学)
4			歯の修復、歯内療法が必要な患者についての導入 浅野明子講師 (う蝕治療学)	G3.4.5.6グループ学習 工藤義之准教授	口腔外科序論 口腔外科診断学 診察法 山谷元氣助教 (口腔外科学)

Introduction to the Dental Patient

Week 2: 歯科医学INTRODUCTION, 歯科治療に必要な基礎技術, グループ学習

	9/11 月	9/12 火	9/13 水	9/14 木	9/15 金
1	歯科矯正学および歯科矯正治療の意義 佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	内丸実習 8:50集合厳守 G4 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授 G3.放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教	悪性腫瘍・自己免疫疾患を有する患者へのアプローチ① 千葉俊美教授 (関連医学分野)	内丸実習試験 内丸8:50集合厳守 実習 実習試験① エックス線撮影 印象採得 口腔内写真撮影 分かれて延べ2日間	グループ学習 工藤義之准教授 浅野明子講師 (う蝕治療学) テーマ:チュウター 摂食嚥下:稲徳暁宏助教 矯正系:菊池恵美子助教 全身疾患:工藤義之准教授 歯周系:滝沢由希助教 訪問診療:村上智彦助教 院内感染:工藤義之
2	正常咬合と不正咬合 佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	G1.2.5.6グループ学習 工藤義之准教授	脳血管疾患・認知症を有する患者へのアプローチ① 千葉俊美教授 (関連医学分野)	空いている時間はグループ学習 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授	
3	実習(矢巾:実習室) 医療コミュニケーション実習① 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) (歯周病学) (歯科補綴学) 森川和政教授 (小児歯科)	内丸実習 G6 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授 G5 放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教 G1.2.3.4グループ学習 工藤義之准教授	脳血管疾患・認知症を有する患者へのアプローチ② 小林琢也 教授	:放射線撮影(読影室) 歯科放射線学 星野正行助教 G4.5.6グループ学習 工藤義之准教授	実習(矢巾:実習室) 医療コミュニケーション実習② 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) (歯科補綴学) (予防歯科学) (歯科矯正学) (歯科放射線学) 森川和政教授 (小児歯科)
4			周術期患者へのアプローチ 大石泰子助教 (予防歯科学)		

Introduction to the Dental Patient

Week 3: 歯科医学INTRODUCTION, 医療コミュニケーション, 歯科治療に必要な基礎技術

	9/18月	9/19火	9/20 水	9/21 木	9/22金
1	/	内丸実習 内丸8: 50集合厳守 実習 実習試験② エックス線撮影 印象採得 口腔内写真撮影 分かれて延べ2日間	代謝疾患を有する患者へのア プローチ② 滝沢尚典助教 (歯周療法学)	/	/
2		空いている時間はグループ学 習 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授	感染症・血液疾患を有する患 者へのアプローチ ① 千葉俊美教授 (関連医学分野)		
3	/	:放射線撮影(談影室) 歯科放射線学 星野正行助教 グループ学習 工藤義之准教授	実習(矢巾:実習室) 医療コミュニケーション実習 試験 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) (歯科補綴学) (口腔外科学) (歯科放射線学) 森川和政教授 (小児歯科)	放射線実習発表会 (矢巾) 放射線撮影 星野正行助教 (歯科放射線学) 各グループごとにエックス線を 撮影し発表 1班20分×6 質疑 まとめ講義	/
4					

Introduction to the Dental Patient

Week 4: 歯科医学INTRODUCTION, 医療コミュニケーション, 歯科治療に必要な基礎技術

	9/25月	9/26火	9/27 水	9/28 木	9/29 金
1	歯の修復・補綴が必要 な患者についての導入 (齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント 学))	印象実習発表会 (内丸) 印象&模型作製 間山寿代准教授 (歯科矯正学) 各グループごとに作製した模 型をもとに発表 1班20分×6 質疑 まとめ講義	/	悪性腫瘍・自己免疫疾患を有 する患者へのアプローチ② 山谷元氣助教 (口腔外科学)	最終試験1 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 森川和政教授 小林孫也教授 浅野明子講師
2	グループ学習発表会 (矢巾) 各グループごとに発表 発表:1班20分×6 質疑:5分×6 工藤義之准教授 (歯科医学教育学)				
3	/	補足実習(内丸) 該当者のみ それ以外は内丸で出席確認。 自主学習 印象&模型作製 (矯正歯科外来) 歯科矯正学 間山寿代准教授	/	/	最終試験2 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 森川和政教授 小林孫也教授 浅野明子講師
4		:放射線撮影(談影室) 歯科放射線学 星野正行助教 医療コミュニケーション実習 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)			